

進路新聞

第4号



発行日：令和6年7月9日

編集&発行：希望が丘高等特別支援学校
進路指導部

◆前期現場実習(2~3年生)報告会



前期現場実習が終わりました。実習最終日は天候が悪くなり、当日の早朝から「予定どおり実施」という連絡をメールでしました。自分で「今日は休み」と思い込み、欠勤となる生徒がいるかもしれないと心配しましたが、全ての生徒が実習先へ出勤することができており、働くことに対する意識の高さを感じました。

7月1日に行われた前期現場実習報告会報告会は、校内実習を最後までやり遂げた1年生も参加して先輩の実習報告を真剣に聞いていました。2年生と3年生は、一人ひとりが自分の個人目標や仕事内容を述べ、今回の実習で発見できた課題などを力強く発表できていました。

校長先生からの講評では、挨拶の大切さや現在の雇用状況に関する話があり、生徒たちも就職に向けて努力したいという気持ちを高めました。進路指導部からは、実習先で努力できたことや称賛されたことを引き続き、学校生活でも実践してほしいとお願いをしました。また、本校は実習中のため参加できませんでしたが、高校3年生(卒業予定者)を対象とした「ながさき合同企業説明会」(6/19~6/20)の様子を紹介しました。「君たちと同じように多くの高校、特別支援学校の生徒たちが就職に向けて頑張っている」という話を真剣な眼差しで聞いてくれました。今回の現場実習で学んだことを生かして、学校生活でさらに成長してくれることを期待します。

◆求職登録説明会(3年生)

7月4日にハローワーク諫早の就職支援コーディネーターである前田様を招き、3年生を対象とした求職登録説明会を実施しました。本校では、3年生が就職活動を進めていくために、夏季休業期間中に実施する進路面談が終わった後、生徒と保護者がハローワーク諫早を訪問して求職登録を行う必要があります。今回の説明会は、昨年同様に、保護者の参加率(約83%)が高く、今後の進路に向けて貴重な時間となりました。

